

現代中国語にみられる日本語由来の外来語

— “控”^{kong}の基本語化に関する一考察 —

呂 衛 清 ・ 駱 婉 婷

一、はじめに

日本語でいう「外来語」とは、「①他の言語より借り入れられ、日本語と同様に日常的に使われるようになった語。(略) 広くは漢語も外来語であるが、普通は漢語以外の主として西欧語からはいつてきた語をいう。片仮名で書かれることが多いので‘カタカナ語’などともいう。伝来語。②‘借用語’に同じ^[1]」である。

勿論、中国語にも外来語が多くあり、1984年に出版された『漢語外来詞詞典』には7704の外来語が収録されている。『現代漢語詞典』によると、中国語における外来語とは、「他の言語より借用されてきた語。例えば中国語の中の、ロシア語から借用されてきた‘苏维埃^{sūwēi} (ソビエト)、布尔什维克^{bùrshìwēikē} (ボルシェビキ)’、英語から借用されてきた‘马达^{mǎdǎ} (モーター)、沙发^{shāfā} (ソファー)’の類^[2]」であり、「借词 (借用語)」とも呼ばれる。

「ガラス」「ノート」「アルコール」などのように、日本語の外来語は原語の音を借用した音訳語が一般的であるが、中国語の外来語は借用の形式によって大きく4種類に分類できる。‘克隆^{kèlóng} (clone)’ ‘巧克力^{qiǎokēlì} (chocolate)’ ‘歇斯底里^{xiēsidǐlǐ} (hysteria)’などの音訳語の他に、原語の意味を借用した意識語も存在し、‘智商^{zhìshāng} (IQ, intelligence quotient)’ ‘机器人^{jīqìrén} (robot)’ ‘绿色食物^{lǜsèshíwù} (green food)’などがその例である。音訳語や意識語のほかに、音訳に意識を加えた混訳語 (hybrid words) もあり、‘啤酒^{pǐjiǔ} (beer)’ ‘迷你裙^{mínìqún} (mini-skirt)’ ‘马克思主义^{mǎkǎsīzhǔyì} (Marxism)’がこれに当たる。以上の3つの他、4つめとして原語の形を借用した借形語がある。これには、‘WTO’ ‘NHK’などのようなアルファベット語もあれば、‘人气^{rénqì}’ ‘不动产^{bùdòngchǎn}’ ‘社会主义^{shèhuìzhǔyì}’など、主として日本語の漢字語の形をそのまま借りた語^[3]もある。

沈国威は、「(1950年代に) 孫常叙が中国語の中の日本語由来の語を‘書写形式を借り入れた特殊な借用語’と呼び、初めて‘日本語由来の借用語’という術語を使用した^[4]」と述べ、更に「日本語の要素が中国語に入ってきた時は殆ど例外なく漢字の形式を取るので、それを‘借形語’と呼ぶのは適切だ^[5]」と結論を下す。

前掲の『漢語外来詞詞典』の7704語のうち、最も多いのは英語由来の外来語で3500語近くあり、これに次いで多いのが日本語由来のもので900語近くある。確かに日本語由来の外来語では借形語が圧倒的に多いが、「例外なく」とは言い切れない。中国語も日本語も

漢字文化圏に属する故、日本語の漢字語を借り入れる場合、そのまま使えばいいが、仮名で表記される語を借用する場合は直接、導入できないので、工夫が必要となる。具体的方法として、中国語の漢字音を用いて音訳する例が僅かながら存在する。これは、かつて日本人が英語のclubを、漢字の音を借りて「倶楽部^[6]」と書き表したのと同じ手法である。この音訳語について、王雯は「改革開放以降の日本語由来の外来語のうち、音訳語は‘欧巴桑(おばさん)’‘卡哇伊(かわいい)’‘卡拉OK(カラオケ)’‘榻榻米(たたみ)’の4語しかない^[7]」と指摘するが、ここに日常的に使われるようになり基本語化^[8]しつつある“控”も日本語由来の音訳外来語として加えるべきであろう。

“控”について考察した先行研究に、主として王周の修士論文「類詞綴“族”“党”“迷”“控”研究」と牛麗亜の「再議流行詞“控”」がある。前者は準接辞としての“族”“党”“迷”“控”の使い分けを通時的に考察したものである。後者は“控”とその類義語“情结”“癖”のニュアンスの違いを説明した論文である。以上の先行研究の成果を踏まえ、本稿は“控”の基本語化の過程とその要因を明らかにすることを目指す。この目的を果たすために、第二節では現代中国語における“控”の使用状況について、準接辞、動詞としての使用例を検討し、第三節では“控”が「基本語化」している社会的、心理的、言語的要因について整理する。続く第四節では全体のまとめと今後の課題について述べる。

二、現代中国語における“控”の使用状況

1、準接辞としての“控”

“控”は中国語で“kong”と発音される。これは、日本語の「コン」と発音がほぼ同じである。“控”は日本語の「ロリコン」を語源としており、その「ロリコン」は、「Lolita」と「complex」との結合によってできた和製英語「ロリータ・コンプレックス」の略語である。「ロリータ」は1969年に出版されたウラジミール・ナボコフの小説『ロリータ』に登場する少女の愛称で、精神分析用語としての「コンプレックス」は「マザーコンプレックス」「エディプスコンプレックス」などのように、「抑圧されながら無意識のうちに存在し、現実の行動に影響力をもつ^[9]」複合感情を表すが、「ロリコン」は幼女・少女への性的嗜好や恋愛感情を持つこと、又はそのような者を指すときに使われる。様々な複合感情を病的、不健康な感情・嗜好に限定する「意味の特殊化 (specialization)」が生じ、一般に差別的・ネガティブな表現として使用されがちである。

「ロリコン」は「lolicon」や「roricon」の形で英語圏に逆借用されているだけでなく、アニメ・マンガなどに代表される日本のポップカルチャーと一緒に中国人にも受け入れられた。最初は「マザーコンプレックス」の意味を表す“恋母情结”^{lianmuqingjie}、「エディプスコンプレックス」の訳語である“俄狄浦斯情结”^{edipusqingjie}などに倣って「ロリコン」を“洛丽塔情结”^{luolitapingjie}と音訳+意識の形式で借用した時期があったが、直ぐに完全音訳語型の“萝莉控”^{luolikong}に取って代わられた。

“萝莉控”^{luolikkong}が中国語に借り入れられた最初は、アニメファンやマンガファンの中で「アニメやマンガの中の少女が好きの人」を指す時に使われる集団語であった^[10]。

音訳語である“控”^{kong}と意識語である“情结”^{qingjie}の違いについて、牛麗亜は次の通り指摘する。「両語は中国語に借用された後、異なった発展ぶりを見せる。語義的にはどちらも“極度にはまり込む”といった意味を持っていたが、後に“控”^{kong}は、“はまり込む”の程度が弱まり、“普通に好む”という意味を表すようになった。一方、“情结”^{qingjie}は依然として深い感情を表す^[11]」。つまり、日本語の「コン」にあったネガティブなニュアンスは意識語である“情结”^{qingjie}に受け継がれ、音訳語である“控”^{kong}は専ら「好きだ、好む」というやや軽い意味を表すように使い分けられるようになった。

以下は新聞における“控”^{kong}の使用例である。なお、用例における下線は本稿の筆者が付したものである。

例1：调查显示日本超5成年轻人自认为是“萝莉控”

調査の結果、5割以上の日本人の若者が自分を「ロリコン」だと思っていることが分かった

http://www.chinadaily.com.cn/micro-reading/dzh/2014-09-12/content_12367309.html

また、“萝莉控”^{luolikkong}と同時に、幼い男の子を対象に愛情や好みを持つこと、又はそのような者を表す「ショタコン」^[12]という語も“正太控”^{zhengtaikong}の形で中国で広がりを見せる。

例2：国足将首现“90后”国脚 高洪波变“正太控”

中国サッカー代表チームに初の「90年代生まれ」の選手が誕生 高洪波が「ショタコン」に変わる

<http://sports.qq.com/a/20100120/000307.htm>

上記2語は新聞記事の見出しにある例だが、その記事の内容を読んでもと、“萝莉控”^{luolikkong}は特に若い女性のことが好きな男性を指し、“正太控”^{zhengtaikong}は若い選手が好きだという意味に使われているようである。こうして“控”^{kong}はもともとの原語である英語の「complex」（複合感情）からネガティブな意味を持つ日本語の「コン」（不健康で変態的な感情）を経て、単に「○○が好きだ、又はそのような者」を表し、一般的に中性語として使われるようになった。次の例を見てみよう。

例3：布偶控、球鞋控、以及香水控、信纸控、门票控、迷彩控、芭比控、手机控、镜子控、笔记本控、盒子控……“恋物控”是疯狂的购物族，拼命搜集自己的所爱。

「ぬいぐるみコン」、「スニーカーコン」、「香水コン」、「便箋コン」、「入場券コン」、「迷彩コン」、「バービー人形コン」、「携帯コン」、「鏡コン」、「手帳コン」、「箱コン」…「小物コン」は熱狂的な買い物族で、がむしゃらに自分の好きな物を集める。

2014年2月18日付『北京青年報』

例4：“控”字来袭，如今再说“主流”就太OUT了，我们身边充斥了千奇百怪的“控”，哪怕只是爱吃面条，也可以归类“面条控”。

「控」という文字がブームとなっている。今「主流」と言うのは時代遅れだ。私たちの周りに奇々怪々な「控」が出回っている。ただ麺が好きな人でも、「麺コン」に分類される。

2010年4月14日付『河南日報』

更に、人物を肯定的に評価する言葉として使われる“控(kong)”の例も見られる。例えば、

例5：我承认我是个“文字控”，看一份报纸，都会从头至尾看到底，不放过任何一个角落，当然也就不会放过中缝了。

私は自分が「文字コン」だと認める。新聞を読む時、一文字も読み漏らすまいと初めから終わりまでじっくり読む。勿論、新聞の左右の見開きの中間にある部分も。

2010年8月30日付『温州晚报』

例6：喜爱美食的我，每到一地，总会遍尝当地美食及特色小吃，拿现在流行词语来讲，就是一个地道的“美食控”。

グルメである私は、どこかへ行くと、必ずその地方の美食と名物料理を万遍なく楽しむ。今時の流行語で言えば、正真正銘の「美食コン」だ。

http://www.chinadaily.com.cn/hqcj/xfly/2013-06-08/content_9269563.html

例5、例6から、自らを誇って「文字コン」「美食コン」と自慢していることが読み取れよう。このように、最初は“^{luoli kong}萝莉控”“^{zhengtai kong}正太控”の形で「アニメやマンガの中の幼くて可愛い女の子、或いは男の子が好きな人」を指す時にしか使われなかった“^{kong}控”は、「〇〇が好きな人」と意味が中性化し、爆発的に名詞性接尾辞として新しい語を造り出している。王周は“^{kong}控”を接辞とすることばを353語も集めており、“^{kong}控”の広がりぶりを窺い知ることができよう^[13]。

名詞性接尾辞“^{kong}控”の前に来る品詞は名詞、動詞、形容詞と多種多様である。例えば、例3中の“^{bukong}木偶控”“^{qiuxiekong}球鞋控”（「ぬいぐるみコン」「スニーカーコン」の意）などは名詞＋“^{kong}控”の例にあたる。他に“^{kong}NBA控”“^{bizhikong}iPhone壁纸控”のように、アルファベット語や

混種語が“控”の前に来ることもある。動詞+“控”の例としては、“化粧控”（化粧をすることが好きな人）、“跑步控”（ジョギングをすることが好きな人）などがある。また、“性感控”（セクシーさが好きな人）、“慵懶控”（だらだらするのが好きな人）などは形容詞+“控”の例になる。

まとめてみると、日本語の「ロリコン」の「コン」が中国語に借用された当初、意識語の“情结”と音訳語の“控”が併存し、両者の間に使い分けの関係が形成され、“控”はネガティブなニュアンスが弱くなり、中性語、場合によってはポジティブな意味にも使われるようになった^[14]。

また、日本語の「ロリコン」の「コン」は自立性をもった、複合語の一部分であるのに対して、中国語に借用された“控”は常に他の語のあとに付いて用いられること、新しい語を作る造語力が強いことから接辞になる。しかし、「○○が好きな者」という意味合いが強く、まだ文化化し切れていないので、中国語では「类词缀（準接辞）」と位置づけられているのである。最初はアニメファンやマンガファンの間でしか用いられなかった“控”は準接辞として大量に新語を作り出すので、集団語から今やインターネット、新聞などのマスメディアで日常的に使われる基本語になりつつある。

2. 動詞に使われる“控”

現代中国語における“控”は、“控告”“控诉”などのように「訴える、告発する」という意味に使われる他に、“控制”“掌控”“操控”などの形で「支配する、制御する、コントロールする」という意味に広く用いられる。例えば、“控制政权（政権を支配する）”、“控制人口增长（人口の増加を抑制する）”などの例がよく見られる。

上記のように中国語の“控”は動作性の強い基本動詞“控制”“掌控”“操控”などを構成する形態素^[15]であった。他の語のあとに付いて準接辞として機能する日本語由来の外来語の“控”もそれに引きずられ、動詞として「コントロールされたように好んで離せない、夢中になる、ハマる」という意味に用いられるようになった。例えば、

例7：最近超控这首歌啊。

最近はこの歌に超ハマっている。

<http://tieba.baidu.com/p/1189928932>

例8：不知不觉就很控星巴克，不知道是先爱上咖啡的味道，还是先爱上了星巴克的感觉。

知らず知らずのうちにスターバックスにすごいハマってしまった。先にコーヒーのにおいが好きになったのか、それとも先にスターバックスの雰囲気が好きになったのかは分からないが。

<http://s.weibo.com/weibo/%25E5%25BE%2588%25E6%258E%25A7&page=9>

例9：我非常不适合牛仔衬衫和彩色格子衣服当然还有针织开衫，曾经很控这三个系列，无一例外被评价为不好看，现在看来也非常土，索性都被我处理掉了。

私にはとてもデニムシャツやカラーチェック柄の服は似合わない。もちろんニットカーディガンも。一時はこの3シリーズのものにかなりハマっていたが、どれもこれも評判が悪かった。今から見ると確かにやばったので、あっさりと処分してしまった。

<http://s.weibo.com/weibo/%25E5%25BE%2588%25E6%258E%25A7&page=4>

言語類型論から見れば、日本語はSOV言語であるのに対して中国語はSVO言語である。上述のように、“控”^{kong}（V）のあとに目的語（O）である「この歌」、「スターバックス」や「3シリーズのもの」などが来る。そして、“控”^{kong}の前には程度副詞“超”“很”（「超」「すごい」「かなり」の意）などが共起して、動作の程度を修飾する。すなわち、中国語には元々「訴える」「支配する」等を意味する基本語の動詞“控”^{kong}があった。その後、新しく日本から「ロリコン」「ショタコン」の“控”^{kong}が借用された。日本での「コン」は名詞（の後部要素）でしかないが、在来の動詞“控”^{kong}の影響を受けて「コントロールされたように好んで離せない、夢中になる」を意味する動詞として“控”^{kong}が使用されている^[16]。

上述の如く、日本語より借り入れられた外来語“控”^{kong}は、同じ「コン」を語源とする、意識外来語である“情结”^{qingjie}との間に使い分けの関係が築かれているので、日本語にある「不健康で変態的な感情」というネガティブな意味が薄れ、単に「〇〇が好きだ、ある物事に執着や愛着を持つ」と意味の中性化が進行した。品詞的には準接辞から動詞に使用範囲が拡大し、アニメやマンガファンの間でしか使われなかった集団語から語彙の中心部に移り基本語化しつつあると考えられる。

三、“控”^{kong}が中国で流行・定着（基本語化）した社会的・心理的・言語的要因

1、社会的要因

1982年に内山亜紀による漫画『ロリコン・ラブ』に続いて『ロリコン大全集』（都市と生活社）、『ロリコン白書』（白夜書房）が出版され、翌年に日活が映画『ロリコンハウス おしめりジュンコ』を製作し、日本でロリコン・ブームを巻き起こした。それを皮切りに漫画・写真集・同人誌などが多く世に出された。

注^[6]に記したとおり、中国では改革開放以来、日本との交流が盛んに行われてきた。テレビやインターネットの普及、メディアの発達などに伴いアニメや漫画などに代表される日本のポップカルチャーは中国を席卷するように流れ込んできた。エドワード・サピアが指摘するように、「言語は、文化と同様に、それだけでこと足りることはめったにない。交流の必要から、一つの言語の話し手は、近隣の諸言語や、文化的に優勢な諸言語と直接、

間接に接触するようになる^[17]。また、「一つの言語が、他の言語に及ぼすもともと単純な影響は、語の‘借用’である。文化の借用があるときには、必ず、文化と結びついた語も借用される見込みがある^[18]」のである。

日本のアニメ・漫画文化が中国へ流入する過程で、外来語として中国語に取り入れられた“萝莉控”^{luoli kong} “正太控”^{zhengtaikong} は正にその好例であろう。同時に、“宅”^{zhai}（お宅）“萌”^{meng}（萌える）など日本のアニメ・漫画に由来する外来語も爆発的な人気を集めている。

改革開放以来、他国との政治・経済・文化の交流が頻繁になるにつれ中国人は考えがオープンになり、自分とは違う価値観をもつ人に寛容になってきた。“大叔控”^{dashukong} という“控”^{kong} による新語の流行もこれを裏付ける恰好の例であろう。“大叔控”^{dashukong} の“大叔”^{dashu} は「おじさん」の意味で中年男性を親しみを込めて呼ぶ語で、“大叔控”^{dashukong} は35～40歳代の中年男性が好きな20歳代の女性のことを指す。国家人口と計画生育委員会他が発表した『2012～2013年中国男女婚恋観調査報告書』によると、経済的に成功し、社会的地位を持つ中年男性なら、年が離れていても結婚したいと思う18～25歳の女性は全体の7割を占めているということが分かった^[19]。つまり、“大叔控”^{dashukong} は拜金主義者と思われながらも現代中国で後を絶たないらしい。ちなみに言うと、今中国で“大叔控”^{dashukong} たちにいちばん好かれているのは2012年からフジテレビ系で放送された日本のテレビドラマシリーズ『リーガルハイ』の堺雅人が演じる主人公・古美門研介弁護士であると言われる。逆に、自分より年上の女性が好きな若い男性は“御姐控”^{yujiekong} と呼ばれる。

2011年に、中国では、“控”^{kong} がその年を代表する漢字（年度漢字）に選ばれた。このことも“控”^{kong} の基本語化に拍車をかけた一つの大きな社会的原因と言えよう。“控”^{kong} は「2010年の年度漢字“漲”^{zhang}（主に物価上昇を意味する）」を受けて、“漲”^{zhang} があれば“控”^{kong}（コントロールする）”があり、“漲”^{zhang} があれば“控”^{kong} の必要がある。“控”^{kong} という字には政府の努力と国民の期待が込められる。一方、一連の“〇〇控”^{kong} は“控”^{kong} が既に一種のライフ・スタイルになったことを反映している^[20] との指摘のとおり、周りの目を気にせずに自分の好きなものに夢になる人々（“〇〇控”^{kong}）が中国で増加してきたことも一つの要因であろう。

2、心理的要因

“控”^{kong} の流行については、「“控”^{kong} の幅広い流行はこれまで以上に軽くて明るい意味空間と色鮮やかな言語風景を呈している^[21]」との指摘もある。中国語には従来より「ある事柄に熱中する人、ファン」を指す“迷”^{mi} という接辞が存在し、“京戏迷”^{jingxi mi}（京劇ファン）“围棋迷”^{wuqi mi}（囲碁マニア）などのように使用される。“控”^{kong} は“迷”^{mi} と意味が類似するが、“控”^{kong} は外来語であるがゆえに“迷”^{mi} よりは語感が軽く、おしゃれな語感であることが若者の間での大流行につながったと言えよう。

また、例3にある「ぬいぐるみコン」、「スニーカーコン」、「香水コン」、「便箋コン」、

「入場券コン」、「迷彩コン」、「バービー人形コン」、「携帯コン」、「鏡コン」、「手帳コン」、「箱コン」を見て分かるように、“控”は自分の個性をアピールし、周囲からひときわ目立ちたがる若者の自意識をくすぐる言葉である。若者たちは「時代遅れ」と思われることを嫌い、個性に満ちた多彩なライフスタイルを創造していこうとするのである。

前述の通り、“控”は最初はアニメ・漫画ファンの中で普及し始めた。ファンたちはアニメ・漫画に由来する“控”“宅”“萌”などの新語を積極的に取り入れ、使用することによって互いの連帯感・親近感を強める。そして、自分たちが取り入れた、或いは造り出した新語が一般に用いられるようになった場合、自分たちが言語、ひいては社会をリードしているようなプライドや喜びを味わえる。

「下の階層は、上の階層を追いかけます。上の階層はさらに上に逃げます。こうして、新しい消費が生まれ、流行が広がり、景気が良くなる^[22]」という買い物の心理とまったく同じ心理に突き動かされ、新しいブームに乗り遅れないように“萝莉控”や“大叔控”と、“控”を積極的に使う模倣者が出はじめ、集団語であった“控”が基本語化していったものと考えられる。

3、言語的要因

前述の社会的要因と心理的要因以上に、日本語由来の外来語である“控”の基本語化に決定的な影響を与えているのは言語的要因であろう。

田中は、周辺語から基本語になる基本語化の過程で、既存の類義語との間に「使い分けの関係」を形成し、新たな語彙体系を構築していく^[23]と指摘している。

中国語には、“控”の類義語として以前から“迷”という接尾辞があるが、“控”は外来語である故、既存の“迷”よりは語感が軽く、明るい響きを持つ。また、“迷”は書き言葉としても話し言葉としても一般に広く使用されている。これに対して、“控”は最近書き言葉としても使われるようになってきたが、今のところインターネット上で話し言葉のように用いられるのが一般的である。そして、“動漫迷”（「アニメ・マンガマニア」）・“動漫控”（「アニメ・マンガコン」）などのように“迷”と“控”が並行して使われるケースもあるが、両者に程度と意味範囲の差が見られる。“動漫控”は“動漫迷”よりハマリの度合いが低い。また、“動漫控”は「特に日本のアニメ・マンガが好きな人^[24]」を指す傾向が強く、“動漫迷”より意味の範囲が狭い。

また、「ある物事に夢中になる」という意味に用いられる“迷”にも動詞の用法があるが、動詞に使われる場合は“迷恋”“着迷”などの形になる。例えば、

例11：大学生因何会迷恋于算命？

大学生はなぜ占いに夢中になっているのか？

<http://www.docin.com/p-95813892.html>

例12：大家为什么对网络如此着迷？

皆さんはどうしてネットにこんなにハマっているのか？

<http://bbs.csdn.net/topics/40010866>

一方、例7・8・9を見て分かるように“^{kong}控”は一語で独立して使えるので、言語現象にも当てはまる「最小努力の原則（Least Effort Principle）」から見れば、使いやすさで“^{mi}迷”を圧倒するであろう。

上述の通り、日本語由来の外来語である“^{kong}控”は既存の基本語である“^{mi}迷”が内包できない部分を補完することにより、周辺語から基本語へと変化したものと考えられる。

以上“^{kong}控”の用例をまとめると、次の表のとおりになる。

表1 「コン」から“^{kong}控”への変遷

	品詞	意味	語感
日本語の「コン」	名詞「コンプレックス」の略語	〇〇を対象に持つ不健康で変態的感情	差別的・ネガティブな表現
中国語における日本語由来の外来語“ ^{kong} 控”	準接辞	〇〇が好きなこと、またそのような者	中性語。ポジティブな意味に使われる例もある。
	動詞	好む、ハマる	

中国語における日本語由来の外来語のうち、“^{kong}控”とよく似た史的変遷過程を見せる語に“^{zhai}宅”がある。両語ともアニメ・マンガに由来し、ネガティブな意味を持つ集団語であったものが、ポジティブな意味を持つ語、中性語として使用されるようになったものである。また、文法的意味の拡張を経て基本語化が進んでいる点も共通している。以上の変遷過程は、集団語が基本語化する際の一つの類型と考えられる。但し、両語の変遷には、異なる点も多い。“^{zhai}宅”の基本語化の過程及び“^{kong}控”のそれとの比較は別稿で詳しく考察を行う予定である。

四、おわりに

本論文では中国語における日本語由来の音訳外来語である“^{kong}控”の受容を巡って、“^{luoli kong}萝莉控”を語源とする自立語だった“^{kong}控”の準接辞化・動詞化を新聞やインターネット上などの事例を挙げて説明し、そして社会的要因・心理的要因・言語的要因に分けて“^{kong}控”の基本語化の要因を明らかにした。

上記の検討から以下のことが言えるであろう。

- 1、中国語にみられる日本語由来の外来語“^{kong}控”は語彙の意味においても文法的意味においても、日本語の「コン」（「コンプレックス」の略語）よりも広がりを持っている。
- 2、中国語には“^{kong}控”の類義語として“^{qingjie}情结”と“^{mi}迷”がある。この3つを比較すると、

意味は重なる部分もあるが、文体・語感面で使い分けが見られる。“控”は“情结”や“迷”などが持たない意味・語感を持ち、これらの類義語と闘いながら新しい語彙体系をつくり、中国語で基本語の仲間入りを果たした。繰り返しになるが、図で示すと下記の通りである。

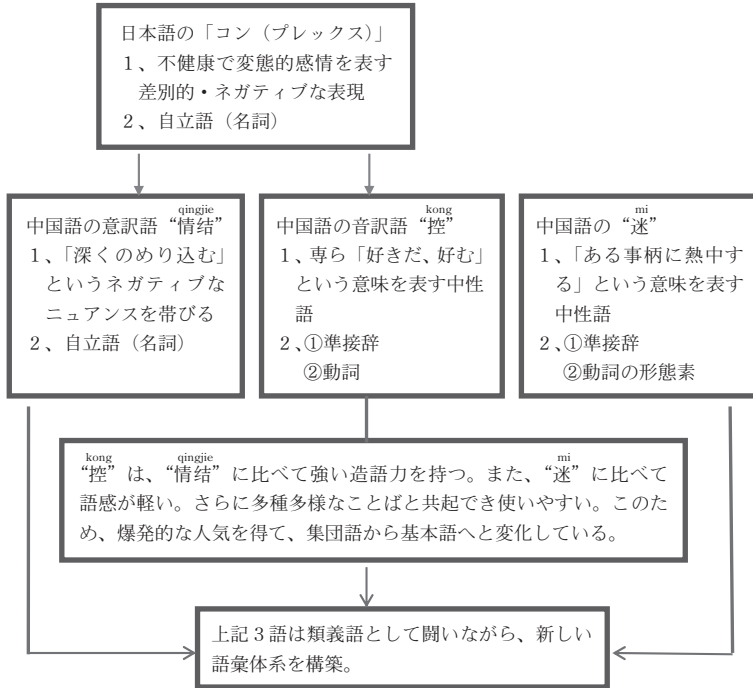


図1 現代中国語にみられる日本語由来の外来語“控”の基本語化

今後の課題として、諸外国語における外来語の基本語化の研究手法や理論を参考にして、コーパスに基づいた計量的調査と詳細な分析を行い、現代中国語における日本語由来の「外来語の基本語化の要因や類型を探り、その理論化^[25]」を試みたいと思う。

【注】

- [1] 松村明 (編). 大辞林 (第三版). 三省堂,2006;422.
- [2] 中国社会科学院語言研究所詞典編輯室 (編). 現代漢語詞典. 商務印書館, 1992; 1180.
- [3] “人気 (人氣)” “不動産 (不動產)” “社会主义 (社会主義)” などのように外来語として中国語に借り入れられた場合、日本語の漢字と形が多少ずれるにも関わらず、「借形語」と看做される。
- [4] 沈国威. 日語借詞的研究. 日語学習与研究 2012;3:7.
- [5] 同上。

- [6] 「倶楽部」は今でも中国語において“倶乐部”という形で日常的に使われている。この語はあまり日本語由来の外来語とは意識されていないかもしれない。“倶乐部”のような、19世紀末～20世紀初頭に起きた第一回目の日本語語彙の借用高揚期に借り入れられた語は「近代新語」と呼ばれる。自然科学用語・社会科学用語など抽象概念を表す語が多い。1978年に改革開放が実施されてから、中日交流が活発になると、言葉の接触と融合の波に乗じて大量の日本語の語彙が中国語に流入してきた。これは第二回目の高揚期と呼ばれ、衣食住に関する日常生活用語が多いようである。
- [7] 王雯. 改革開放以来的日源外来詞研究. 河北大学硕士学位论文, 2010;7.
- [8] 田中牧郎は、「明治後期における漢語の基本語化」(『第6回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』所収, 国立国語研究所, 2014年)を題とする論文において、「基本語」を「語彙の中心に、安定してよく使われる」ことと定義している。他方、「その周辺に、不安定であまり使われない」語があり、これを「周辺語」とし、「周辺語から基本語へと変化していく」ことを「基本語化」と称している。本稿における「基本語化」の定義はこれに従うものである。
- [9] 松村明 (監修). 大辞泉 (初版). 小学館, 1995;1027.
- [10] 日本でも1980年代はアニメの女の子が好きな人のことをロリコンと称する場合があった。
- [11] 牛麗亜. 再議流行詞“控”. 新郷学院学報 (社会科学版) 2012;6:119.
- [12] 日本語の「ショタコン」は「正太郎コンプレックス」の略で、1981年に誕生した語である。「正太郎」は漫画『鉄人28号』の金田正太郎少年の名前に由来するという説がある。
- [13] 王周. 類詞綴“族”“党”“迷”“控”研究. 揚州大学硕士学位论文, 2013;49.
- [14] いつ頃から“情緒”と“控”の意味の棲み分けが見られるようになったかについては、はっきりしない。今後の課題としたい。
- [15] 日本語の「ロリコン」の「コン」は仮名文字で、一つ一つの文字が音素や音節を表し、意味に対応しない表音文字であるのに対して、中国語の“控”は文字一つで一定の音形と意義の結合した語や形態素を表す表語文字である。
- [16] 動詞としての“控”がいつから見られるようになったのかについては、今後の課題である。
- [17] エドワード・サビア (著), 安藤貞雄 (訳). 言語—ことばの研究序説—. 岩波書店, 1998;333.
- [18] 同上;335.
- [19] 広州日報. 18～25歳女性70%は大叔控 2012年12月25日.
http://gzdaily.dayoo.com/html/2012-12/25/content_2087967.htm (本稿で参考にしたWEBページの最終アクセス日はすべて2015年9月20日である)
- [20] 新浪読書. “控”字当选中国2011年度汉字.
<http://book.sina.com.cn/news/c/2011-12-14/1716293678.shtml>
- [21] 同上。
- [22] 確井真史. 心の財布と買い物心理・衝動買いの心理: 売り上げを伸ばすために・無駄遣いしないために.
<http://bylines.news.yahoo.co.jp/usuimafumi/20141124-00040955/>
- [23] 田中牧郎. 明治後期における漢語の基本語化. 第6回コーパス日本語学ワークショップ予稿集 2014;199.
- [24] 搜狗百科. 動漫控.
<http://baike.sogou.com/v52146081.htm>
- [25] 金愛蘭. 外来語の基本語化の研究—20世紀後半の新聞コーパスをもとに—. <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/subsidy/pdf/3rd01.pdf>

【参考文献】

- 張黎.中国の新語に於ける日本からの借用語について—メディアの使用状況を中心に.
言語文化論叢 2015;9:31-47.
- 中国社会科学院語言研究所詞典編輯室(編).現代漢語詞典.商務印書館,1992.
- エドワード・サビア(著),安藤貞雄(訳).言語—ことばの研究序説—.岩波書店,1998.
- 牛麗亜.再議流行詞“控”.新郷学院学報(社会科学版) 2012;6:118-119.
- 彭広陸.中国語の新語に見られる日本語からの借用語. 日本語学 2013;11:14-25.
- 金愛蘭.外来語の基本語化の研究—20世紀後半の新聞コーパスをもとに—.
<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/subsidy/pdf/3rd01.pdf>
- 広州日報. 18～25歳女性70%は大叔控 2012年12月25日.
http://gzdailydayoo.com/html/2012-12/25/content_2087967.htm
- 松村明(監修).大辞泉(初版).小学館,1995.
- 松村明(編).大辞林(第三版).三省堂,2006.
- 王雯.改革開放以来の日源外来詞研究.河北大学碩士學位論文,2010.
- 王周.類詞綴“族”“党”“迷”“控”研究.揚州大学碩士學位論文,2013.
- 汪婷.中国における外来語の変容—「外来文化の変容と受容」研究の一環として. 鈴鹿
国際大学紀要 2009;16:101-116.
- 劉正埏・高名凱・麦永乾他(編).漢語外来詞詞典(A DICTIONARY OF LOAN WORDS AND HYBRID
WORDS IN CHINESE).上海辭書出版社,1984.
- 沈国威.漢語的近代新詞と中日詞彙交流—兼論現代漢語詞彙体系的形成.南開語言学刊 2008;1:72-88.
- 沈国威.日語借詞の研究.日語学習与研究 2012;3:1-9.
- 新浪読書.“控”字当选中国2011年度漢字.
<http://book.sina.com.cn/news/c/2011-12-14/1716293678.shtml>
- 孫婧.2014年網絡流行語特徵分析.
<http://www.chinanews.com/sh/2015/03-23/7151870.shtml>
- 田中牧郎.明治後期における漢語の基本語化.第6回コーパス日本語学ワークショップ予稿集 2014:193-
200.
- 碓井真史.心の財布と買い物心理・衝動買いの心理:売り上げを伸ばすために・無駄遣いしないために.
<http://bylines.news.yahoo.co.jp/usuimafumi/20141124-00040955/>

【付記】 本稿は、広島大学国語国文学会平成27年度研究集会で発表した原稿に加筆修正を加えたものである。なお本稿は、呂衛清の指導のもとで駱婉婷が書いた卒業論文をベースに呂衛清がさらに研究を進展させた内容になっている。日本語の修正については久保輝幸氏のお世話になった。また、査読の先生方より大変貴重なご意見、ご指摘を頂いた。記して御礼申し上げます。

— ろ・えいせい、華中師範大学准教授・広島大学文学研究科博士課程後期在学—
— らく・えんてい、南京大学日本語学部修士課程在学—